



## 西徳寺

**水口の双盤念仏**は、大久野水口地区の西徳寺で毎年8月の旧盆に近い日曜日に奉納されます。地元では鉦張り念仏と呼ばれ親しまれています。双盤念仏とは平安時代以来の引声念仏の流れを汲むもので、鉦と太鼓を打ち鳴らしながら、そのリズムに合わせて独特の節をつけて念仏を唱える仏教行事です。今日まで伝承されているものはあまり多くありません。都内では、日の出町の「鉦張り念仏」を含め、武蔵村山市の「薬師念仏鉦はり」と大田区の「今泉延命寺双盤講」、府中市の「車返本願寺結衆講」の4つが今でも伝承されていて、東京都の文化財に指定されています。